

クラス番号	904	担当教員名	佐々木 将芳
テーマ	子どもの生活・活動と発達		

ゼミナール概要

<目的>

みなさんは、どんな子ども時代をすごしてきましたか？誰と、どんな遊びを経験しましたか？自分にとって、かけがえのない仲間はどうな人ですか。大切なおとなと出会いましたか？子どもが、「こども」としてその時期を過ごすことは、とても大切です。「自分らしさ」といいますが、「自分らしさ」とはなんでしょうか。それは、誰かに言われて気付くものですか？自分たちが当たり前で過ごしてきた子ども時代について、いちど考え直してみましょう。

<内容>

子ども・子育てに関する制度は、目まぐるしく変化しています。保育所の仕組みや養護施設、学童保育について、考えてみましょう。また、障害をもつ子どもの生活や支援はどうなっているのでしょうか。

子どもたちの生活は制度に大きく影響を受けます。地域で暮らし、友と遊び、「よりよい自分と出会いたい」と思うねがいは受け止められているのか、考えてみる必要があります。年齢に関わらず、一人の人間として尊重される社会や、子どもを支える、生活を営む家族のしんどさとはどういったものなのか、しっかり考え、思いを巡らすことが大切です。さらに、現代の社会（言い換えれば、国や自治体が、または地域社会）が、どんな価値観や考え方に基づいて、構成されているのかを考える必要があります。

ゼミに参加する皆さんも、誰とも変わることはない生を受け、これまでの歴史を歩んでいます。自分自身の生を振り返りながら、他のメンバーの声に耳を傾け、ともに考える経験を積んでほしいと思います。

<学習目標>

前期：①テキストを要約し、資料を作成する力、②テキスト以外の関連する文献を探し、発表時に活用する力、③他のグループの内容に対して、意見交換や自分の考えを述べる力を身につける。
後期：①自分たちが興味関心をもつ支援内容について、必要な資料を探す、②資料に基づいて、レジメを作成しゼミで発表をする、③施設見学についての諸手続を自分たちで行う。

<授業計画>

前期：テキストを活用しながら、現代社会での子育ての考え方、社会福祉（教育）のシステムについて、じっくり読み解いていきましょう。また、必要に応じてビデオなども見たいと思います。

後期：保育所や障害児（者）施設など実際の現場を訪ね、子どもたちの姿をしっかりとらえていきます。前期で学んだ事を生かし、再度グループで課題を設定し、見学を行う意味をじっくり考えます。

グループ単位での学習が中心となり、グループでの資料作成や発表など、主体的な活動態度が求められます。その中で、発表する側、聞く側双方が、自分が考えたこと、理解したことをしっかり言葉で表すことを学びます。

担当教員からのメッセージ

ゼミは、誰かから答えを聞く場ではありません。自分でしっかり現時点での解答を導き出すことが大切です。しかし、その方法は学ぶことができます。ゼミでは、発表が中心になります。その中で、資料の作成や発表の方法を学んでいきましょう。そうすることから、人に考えを聞いてもらうことや、相手の発言の内容を注意深く理解することの大切さがわかります。大変なことではありますが、今後の学習への取り組み方や、卒業後に子どもたちと接する場面に出会ったときに必ず活用できます。

出会ったなかまを大切にできるゼミにしたいと思います。勉強と遊びやお楽しみを両立できる、アットホームなクラス作りができる人を待っています。